

STK JIS G 3444

一般構造用炭素鋼鋼管

造管サイズ一覧表

外径φ 肉厚m/m	48.6	42.7	34.0	27.2	21.7	17.3	13.8
1.9			○	◎	◎		
2.3	○	○	○	○	○		
3.2							

◎印 月2回以上ロール、○印 月1回ロール、無印はその都度ご相談に応じ承ります。

化学成分 管の化学成分はとりべ分析により、その値は下表のとおりです。

種類の記号	化学成分%				
	C	Si	Mn	P	S
STK290	—	—	—	0.050以下	0.050以下
STK400	0.25以下	—	—	0.040以下	0.040以下
STK500	0.24以下	0.35以下	0.30~1.30	0.040以下	0.040以下
STK490	0.18以下	0.55以下	1.65以下	0.035以下	0.035以下
STK540	0.23以下	0.55以下	1.50以下	0.040以下	0.040以下

機械的性質

種類の記号	製法区分 外径区分	引張強さ N/mm ²	降伏点又は耐力 N/mm ²	伸び%		曲げ性(1)		へん平性	溶接部引張強さ N/mm ²
				11号試験片 12号試験片	5号試験片	曲げ角度	内側半径 (Dは管の外径)	平板間の距離(H) (Dは管の外径)	
				縦方向	横方向				
		全外径	全外径	10mmを超えるもの		50mm以下		全外径	350mmを超えるもの
STK290		290以上	—	30以上	25以上	90°	6D	2/3D	290以上
STK400		400以上	235以上	23以上	18以上	90°	6D	2/3D	400以上
STK500		500以上	355以上	15以上	10以上	90°	8D	7/8D	500以上
STK490		490以上	315以上	23以上	18以上	90°	6D	7/8D	490以上
STK540		540以上	390以上	20以上	16以上	90°	6D	7/8D	540以上

注(1)曲げ試験は注文者の指定のあった場合に限り外径50mm以下の管について適用し、へん平試験の代りに実施します。

備考 ●外径40mm以下の管について特に必要のある場合の伸びの値は、当事者間との協定によります。

厚さの許容差

区分	厚さの許容差			
	継目無鋼管の場合		継目無鋼管以外の場合	
1号	4mm未満	+0.6mm	4mm未満	+0.6mm
		-0.5mm		-0.5mm
	4mm以上	+15%	4mm以上	+15%
		-12.5%	12mm未満	-12.5%
2号	3mm未満	±0.3mm	3mm未満	±0.3mm
			3mm以上	±10%
	3mm以上	±10%	12mm未満	±10%
			12mm以上	+10% -1.2mm

外径の許容差

区分	外径の許容差	
1号	50mm未満	±0.5mm
	50mm以上	±1%
2号	50mm未満	±0.25mm
	50mm以上	±0.5%